

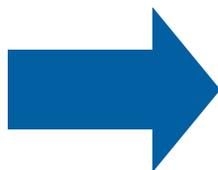
人権問題解決のために

思い込んでいませんか？

無意識のうちに私たちの行動を左右する一方的な思い込みや、幼い頃から知らず知らずのうちに頭と体で覚え、刷り込まれた思い込みはありませんか。

例えば…左下のいくつかの情報を読んで、絵を描いてみてください。どのような絵になりましたか？描いた絵を見ると、思い込みや刷り込まれたイメージに気づくかもしれません。それに気づくことが、差別をなくす一歩になります。

1. 二人の背の高さはちがいます
2. 女の子は手に傘を持っています
3. 男の子は長靴をはいています
4. 女の子は怒っています
5. 男の子は笑っています
6. 二人はおそろいのシャツを着ています
7. シャツの柄は斜めのしま模様です
8. 男の子の髪は長いです



どっちがどっち？



あなたは、どんな絵を描きましたか？

えっ、女の子？それとも男の子？このことに限らず、私たちは日常生活の中で、これまでに刷り込まれたイメージをもとにいろいろなことを判断していることが多いのではないのでしょうか？人には、勘違いや思い込みが多いものです。それがその人の心の中に固まってしまうと偏見(片寄った見方)になって、そのために生きづらさを感じている人や傷ついている人がいます。

同じ花を見て、10人の人が絵を描くと、一人ひとり全く違います。それが個性です。私たちはさまざまな人と関わりながら、生活しています。お互いの違いをそれぞれが認め合い尊重することが、「小郡に住んでよかった」と思えるまちをつくっていくのではないのでしょうか？

「気づく」こと、「正しく知る」ために

私たちに求められていることは、まずは「気づく」こと、そしてその実態や、問題点を「正しく知る」ことです。人権センターでは「公開講座」の開催や「人権に関する図書、DVDの貸し出し」などを行っています。ぜひ、活用してください。

※「人権相談」も行っていますので、人権に関してお困りのことがありましたら相談してください



問合せ先

人権教育啓発センター ☎兼ファクス80-1080
Eメール dotai@city.ogori.lg.jp
〒838-0141 小郡市小郡296

